

令和 7 年 萩市議会 9 月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	4	小 林 富	9 月 8 日午前
2	3	岡 崎 隆 志	
3	2	浅 井 朗 太	午後
4	6	松 浦 誠	
5	1 0	佐々木 公 恵	
6	1 7	宮 内 欣 二	
7	1 4	西 中 忍	9 月 9 日午前
8	1 5	長 岡 肇太郎	
9	8	森 田 宗 和	午後
1 0	1 1	美 原 喜 大	
1 1	9	石 飛 孝 道	
1 2	1 2	森 田 哲 弘	9 月 1 0 日午前
1 3	1 3	関 伸 久	
1 4	1	水 津 和 男	午後
1 5	7	村 谷 幸 治	
1 6	5	瀧 口 治 昭	

質問順位	1	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 山陰道および小郡萩道路の事業進捗と道路整備を見越した街づくりについて	1. 先の3月定例会でも道路行政を一般質問していますが、姉妹都市である輪島市への視察や新たな観点から質問いたします。発災から約1年9か月が経過した輪島市の現状は厳しいものでした。他自治体からの視察受け入れをお断りしている中でもこの視察が実現した背景として輪島市より姉妹都市の萩市だからこそ現状を見てほしい、との想いで実現したものでした。 萩市においても2013年(平成25年)7月28日須佐・田万川を中心とした東部集中豪雨災害があり、7月28日は「萩市民防災の日」と条例にも定められているところです。 (1) 現在、萩市の以東の高規格幹線道路である山陰道は、国の鋭意努力もあり山陰道:大井～萩IC間約11.1Kmの事業化もされ、今後、用地測量や買収、工事着手等も進んでいくと思われます。また、木与～宇田間の事業手法は、防災事業ではあるものの供用されれば山陰道の一翼を担うと思われますが、萩市の以東の進捗状況と今後の見通しについてお聞きします。 地域高規格道路である小郡萩道路の未供用区間の絵堂～萩IC間約15Kmのうち、現在、絵堂～明木IC間約9Kmは2028年(令和10年)を完成目途に工事が行われているとのことですが進捗状況についてお聞きします。また、明木IC～萩間の約6kmは山口県の計画では現道活用区間と仄聞していますが、現状は旧萩有料道路のトンネル一つでありその前後は劣悪な道路線形、また、勾配等もきつく冬季には通行規制や通行止めもあります。これまでの経緯を踏まえて今後の方針をどのように考え、国や県と協議しているかお聞かせください。 (2) 3月の定例会では、一般質問で工事用道路(取付道路)の活用と今後の萩市が抱える道路課題をこの機会に解決できるように国や県と詳細に協議をして進めてほしい旨をお聞きしましたが、参考として平成23年(2011年)全面供用開始して14年の萩・三隅道路および県道萩三隅線の海岸線などを改めて確認しました。 その中で萩・三隅道路の事業に伴い三隅の飯井、三見の飯井地区の工事用道路、また、明石IC事業に伴い県		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
	道萩三隅線の明石～蔵本間の道路改良事業、萩市・長門市との地域連携の代表的な施設でもある「はなもゆ」は、三見 I C から直接進入してアクセスしています。これらのことから道路整備による地域や周辺施設への利便性向上などをもたらす恩恵は大きいと感じたところで す。 近年の社会情勢は物価高や建設費等の高騰などの影響により道路整備、特に高規格幹線道路等は事業化にいたるまで、概略設計、都市計画手続き、環境アセスメント、そして、用地関連、工事着手、供用開始までの間に年月を要しますが、道路整備後の拠点やまちづくりについての展望や協議など萩市の全面協力も必要不可欠ですが、国や県、地元などとどう協議していくか今後の検討をお聞きします。
2. 小中学校施設の安全安心な環境整備について	1. 近年の温暖化に伴う気温上昇や異常気象などにより猛暑日が続いています。状況は年々変化する中で小中学校の施設ではまずは教室、その後特別教室へのエアコンの設置などが実施されています。 給食調理室は気温上昇に加えて食品衛生法の改正に伴い食品等事業者として H A C C P に沿った衛生管理にも対応する必要も出ています。先日、市内いくつかの小中学校給食調理室の現場環境を確認にいくと 3 0 度以上であり熱中症など働く方々の健康面に不安を感じました。また、食材を扱う場所であることから児童・生徒に提供する給食にも不安があります。 全国的にも給食調理室の環境が問題となる中で萩市では既にスポットクーラーを設置している学校もありますが、近年の気温上昇や法改正への対応などから現在では厳しい状況になっていることが確認されました。 上記の現状に対してまずは全小中学校の現場確認を実施したうえで改めて対応を検討し、職場環境および安全安心の環境で給食を提供できるよう取り組むべきだと考えますが、萩市の検討と今後の方針を伺います。 2. 学校体育館についてはこれまで防災拠点として避難所になり得ることから一般質問において提案し、他議員からも質問が挙がっております。

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
	児童・生徒の安全安心な体育館利用はもちろん部活動等や学校施設の開放により市民の方々の利活用による整備の必要性を感じております。同じく輪島市での視察では指定避難所の全ての解除は今年の４月１日までかかっている現状から防災拠点の必要性や備えなど再認識しており、整備方針や体育館の調査などは早期に実施すべきと考えますが、市長および教育長の見解をお聞きします。
3. 旧郡部での移動サービスの体系的見直しと事例研究について	1. 人手不足のなかで持続可能なまちづくりをどのように形成するかは自治体にとっての重要かつ喫緊の課題であることは周知のことですが、今回は旧郡部での移動サービスについて質問します。 旧郡部では大きく分けて広域移動や輸送を伴う路線バスなどによる基幹的公共交通と補完的交通としてのぐるっとバスや生活バス、そして、スクールバスなどがあります。 特に補完的交通を担ういくつかの移動サービスを今後も予想される人手不足の状況下でどう維持・確保するか、という課題に直面しています。地元住民や事業者の方々と協議して体系的にも見直す検討が必要ではないかと感じていますが、萩市の見解を伺います。 また、事例研究としては自動運転についての検討がありますが、主に基幹的公共交通もしくは補完的交通のどこを自動化するのか、自動化の手法としてピストン（シャトル）型なのか、オンデマンド型なのかなどの地域を含めた検討が必要だと思いますが、現時点での協議や展望などをお聞きします。

質問順位	2	質問者	岡崎隆志 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 衰退する農業や周辺地域のために今何をするべきか		1. 農業従事者は、今後年を追うごとに激減していく。農業を守るため、周辺地域を守るためには既成概念や固定観念にとらわれない大胆な施策が必要。市長の考えを改めて問う。	
2. 投票所・期日前投票所の投票立会人の報酬額は改定すべき		1. 各投票所の投票立会人の報酬日額は、現在では条例により一律となっているが、拘束時間により差をつける必要があるのではないか。	

質問順位	3	質問者	浅井 朗 太 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩保健医療圏の医療提供体制の確保にむけた取り組みについて	1. 「萩保健医療圏の二次救急は崩壊寸前である」と、萩市のHPでは表現されています。そこには、萩保健医療圏の二次救急の現状のみならず将来に向けた考え方についても、市民に伝えたい、理解してもらいたい実情があるから、そのような表現がされていることと理解します。 そのような中で、令和元年12月から、萩市では2病院統合による中核病院の形成により、地域医療構想の実現を目指すとともに、医療圏の二次救急を圏域内で完結する体制を堅持することに取り組み始めました。当初の開設目標時期からは3年が経過をしています。 将来の市民の命を守るための“2病院統合による中核病院の形成”の際には、国や県からの各種財政支援が受けられることを、中核病院検討委員会及び中核病院協議会で示してこられました。先日の県議会委員会質疑によって、財政支援の一つである「地域医療介護総合確保基金」の期限が、令和8年度末までに実施される施策でないと適用されないことが明らかになりました。 そこで、下記についてお尋ねします。 「地域医療介護総合確保基金」の他に萩市が示してきた国・県からの個々の財政支援策及び重点支援区域の指定についての期限はどのようになっていますか。変更や、期限による取り消しなどがありますか。また、萩市が、HPで公開している令和3年8月27日開催された中核病院協議会資料『財政支援について』に挙げられている財政支援策それぞれについて、期限についての詳細をお示してください。 現在の基本合意に向けた取り組みなどの説明は求めません。		
2. 部活動地域移行について	1. 平日を含めて部活動を地域に展開する一方、「CS1プロジェクト」を各学校単位であらたに作っていく方針を示されています。学校ごとでは部活動が維持できないこと、教員の働き方改革、などを理由に地域展開をする一方で、学校単位でCS1プロジェクトを立ち上げようとする		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
	の意義と目的をお示してください。教育委員会の回答を求めます。 2. 平日も含め既存の部活動13種目を地域展開する場合、施設の運用基準の変更、セキュリティの確保された施設開放のための修繕等、現在萩市に無い新たな施設の整備などが不可欠です。さらに移送手段や指導人材確保など様々な予算を必要とします。平日を含めた全面的な地域展開という全国でもかなり思い切った方針を打ち出した萩市教育委員会ですが、この実現にむけた総務部財政課は、この方針の実現に対してどのような認識のうえ、どのような予算執行を行う方針か市長部局にお尋ねします。 部活動地域移行の全般的な説明などは求めません。上記2点についてのみ回答を求めます。

質問順位	4	質問者	松浦 誠 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 市が管理する駐車場の整備について		1. 現在の管理状況について 2. 整備計画について	
2. 消防団員の確保について		1. 機能別消防団員の設置について	
3. 宿泊施設について		1. 観光客・宿泊客数について 2. 宿泊施設の整備について	

質問順位	5	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 居住支援の強化について		1. 住居確保給付金について 2. 住宅セーフティーネット制度について 3. 包括的支援に向けた体制づくりについて	
2. 放課後児童クラブについて		1. 放課後児童クラブの質の確保のための対応について 2. 児童の過ごし方について 3. 児童・支援員を守るための防災・防犯・日本版DBSの取組みについて	

質問順位	6	質問者	宮内 欣二 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 中核病院形成と地域医療水準の確保		1. 地域医療水準の確保における中核病院の設置は必要ですか。不必要ですか。 2. 地域医療水準の確保に向けどんな具体的展望をもっていますか。	
2. 田町商店街の振興について		1. 田町商店街の振興における萩市の役割をどう考えていますか。 2. 2022年度中小企業経営支援等対策 面的地域価値の向上・消費創出事業における萩市の関わり方をどう総括していますか。特に国の補助金取得における萩市の支援はどうでしたか。	
3. 歴史民俗資料館の博物館的位置づけについて		1. 須佐歴史民俗資料館と阿武川歴史民俗資料館は博物館法における位置づけはどのようになっていますか。 2. 博物館との違いは具体的にどうですか。 3. それが施設の管理運営にどのように影響していますか。 4. 博物館と同水準の管理運営体制を取ることを考えませんか。	
4. 水道管の鉛管ゼロにむけた取組について		1. 萩市水道における鉛管残存率は、20%を越えています。国は早期に残存率ゼロを求めています。ゼロに向けどのような対応を考えていますか。 2. 水道ビジョンの見直しが必要ではありませんか。 3. 補助制度の見直しは考えていますか。	

質問順位	7	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 高齢化が進む中、 どうしたら市民と の協働を継続でき るのか		1. 萩市の高齢化率は年々増加していますが、この状況は今後も続くことが想定されています。 このような状況を考えると、これまで続けてきた市民と市との協働関係を将来にわたって継続するのであれば、新たな方針を立て様々な工夫をする必要があります。 同時に、市民との協働関係が継続することは、行政にとっても大きなメリットがあると考えていることから、継続していかなければいけないと思います。 そこで、現在、行われている市民と市との様々な協働の現状について、市長はどのような認識を持ち、今後どのように継続していこうと考えているかお尋ねします。	
2. 中核病院形成はど うなるのか		1. 萩市の将来、そして市民の安心に欠かすことができない中核病院ですが、これまで4年間以上、全く進まない状況が続いています。 このような中、萩市の中核病院に関する議論が山口県議会の委員会で行われ、市長が行ったこれまでの答弁と違う認識が示されたことから、県議会議員と市議会議員が連名で萩市に対し公開質問状を提出しました。 そこで中核病院形成の責任者として、市長と県との認識が大きく違った原因をどのように考えているかお尋ねします。	

質問順位	8	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 教育行政		1. 高校生寮の入寮対象者の制限緩和について	

質問順位	9	質問者	森田宗和議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 環境問題について	1. 萩市では、温室効果ガス削減をどのように考えているか。		
2. ふるさと納税について	1. ふるさと納税減少の原因は。 2. 現地決済型ふるさと納税の実績は。 3. 長門市のふるさと納税との差は、どのように考えているか。		
3. 観光戦略について	1. JRデスティネーションキャンペーン「万福の旅 おいでませ ふくの国、山口」が、2025年10月から2025年12月まで開催されます。そこで、この期間での、萩市の観光戦略を聞きます。 2. 10月に万博が終わり秋から冬にチャンスがあると思います。下関市では、9月から12月まで宿泊者に飲食クーポンを、配るキャンペーンを実施します。萩市も大変評判が良かった萩にゃんクーポンを配布する事業をしませんか。 3. 10月3日（金）・5日（日）観光列車「はなあかり」が、東萩駅に停車しますが、観光、宿泊増のため、どのような戦略を講じていますか。		
4. 病院統合について	1. 病院統合について、市長は、特別委員会で、今年中か、本年度中と市としての目標を掲げられました。その覚悟を聞きます。 2. 先日、病院統合できなかった責任論を県議、市議が記者会見をしたと新聞報道がありましたが、相手があるM&Aで成功しなかった例は多々あります。民間では、代表取締役社長は責任を、取っていません。相手があることですので、市長の責任を問うのは酷と思います。私は、市長選を通じて、市民から、多額の資金がかかる病院統合には、慎重に検討して欲しい。それよりも2次救急から、高度医療の連携、素早い搬送をお願いしたい。という声が多くありました。萩市は、将来の、2次救急から、高度医療の連携をどのように考えていますか。		

質問順位	10	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市としての方針について		1. 廃止か継続か 今回、農道橋のH鋼が腐食して通行止めとなった箇所があります。これを復旧するには、かなりの事業費がかかると想定され、市としての対応にも歯切れが悪い状態です。廃止か継続かの判断に迷われるところと思われます。この様になるまでの点検・対応が出来なかったものか残念です。今後の市としての方針を聞きます。この方針は、市道、農道及び林道の関係することと思われます。特に合併した町村は、合併までの町村長の利便性への努力、公共の福祉への努力をされてきています。市町村長の思いのあるところでは。合併後の弊害と言われないように、対応をお願いしたいところです。合併により全体予算額が少なくなり、全部が全部対応は出来なくなることは理解できますが、どのような方針で今後、対応されますか。	
2. 訴訟行為委任事業についての現状を聞く		1. 令和7年4月臨時議会で、予算可決された訴訟行為委任事業について市民の関心度も高いので、次により現状を聞きます。 (1) 現状（進捗状況）を報告してください。	

質問順位	1 1	質 問 者	石 飛 孝 道 議 員
質 問 項 目		質 問 事 項 及 び 要 旨	
1. 萩出身のカヌー選手を育てるための対策は		1. 国内有数のカヌー競技会場を有している萩市から、世界に向けて羽ばたける、カヌー選手を育てる計画はありますか。	
2. 松枯れの対策を		1. 近年、笠山周辺の松が多く枯れている現状です。松枯れの防止対策の計画を考えていますか。	

質問順位	1 2	質 問 者	森 田 哲 弘 議 員
質 問 項 目		質 問 事 項 及 び 要 旨	
1. 萩市が資本金50%以上の出資をしている第三セクターの証券(株券)について		1. 萩市が50%以上の資本金を出資している第三セクターの証券(株券)の発行について以下のことをお尋ねします。 (1) 萩市の第三セクターが証券(株券)の発行している会社法人の証券(株券)を萩市は保有していますか。 (2) 萩市の第三セクターである株式会社たまがわの証券(株券)の発行はないと記憶していますが、市長の見解をお尋ねします。	
2. 地方自治法第243条の3第2項の規定による9月定例会報告第19号株式会社たまがわの経営状況に対する市長の見解について		1. 報告第19号の株式会社たまがわの第28期事業報告書では、漬物部門を令和6年5月10日に株式会社アグリKJに事業譲渡された報告がされていますが、この経緯について萩市にどのような報告がなされ、且つ、市長としてどのような判断をされたのかお尋ねします。 2. 株式会社たまがわは、株式会社アグリKJに譲渡する前に、この漬物部門を譲受・承継されたと認識しています。しかし、譲受・承継された令和5年度の報告第13号の第26期事業報告書には令和4年10月から漬物の販売を開始したと報告されてます。 では、令和4年度の報告第12号の26期の事業計画には江崎加工場の漬物販売及び製造は記載されていません。譲受・承継に関して市長にどのような報告があり、その報告に関して市長はどのような見解をされていたのかお尋ねします。	

質問順位	1 3	質 問 者	関 伸 久 議 員
質 問 項 目		質 問 事 項 及 び 要 旨	
1. 中核病院設置にかかわる公開質問状への対応について		1. この8月8日、田中市長に対して中核病院にかかわる公開質問状が岡県議、笹井県議、そして市議7名より提出されたと聞いている。このことについて、お訊ねする。 まず、公開質問状の内容はどのようなものだったのか。端的に説明してほしい。 次に、これまで中核病院の設置について、両県議と意見交換等の機会があったのか訊ねる。中核病院の設置は、山口県が設置している地域医療構想調整会議で確認されている事項である。また、地域医療の所管がそもそも山口県にあることを考えれば、県議の役割は極めて大きい。まさに、萩市と山口県の調整役として期待されているが、これまで萩市に対して意見交換や意見調整の働きかけがあったのか、を改めて確認する。 次に、この公開質問状の中には、中核病院が実現できない場合、市長の責任を問うものもあると仄聞している。これについて、市長はどのように考えているか。この3月の市長選では、中核病院問題に対して、「慎重に議論して推進」の現職、「積極推進」の前職、そして「絶対反対」の新人で争われ、「慎重に議論して推進」の田中市長が再選を果たしている。これが民意の結果である。よって、このことが市長の出处進退に直ちに影響を及ぼすものではないと考えているが、どうか。田中市長には、民意が示すとおり、慎重に議論を重ねて進めて頂きたい。 次に、中核病院にかかわる特別委員会が設置されているが、こうした公開質問が提出されることに対し、萩市はどのように考えているか。 最後に、自民党山口県連に籍を置く二人の県議が、一方的に設置ありきで公開質問状を提出されることについて、その背景に、どのような諸事情があると考えているのか、お訊ねする。	
2. 萩市の農業政策について		1. 現在、萩市では本格的な米の収穫を控え、JA山口県の概算金単価が公表されたところである。「令和の米騒動」と呼ばれ、国の農業政策の根幹が大きく揺れ動くなかでの概算金の公表である。	

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
	まずは、その概算金の近年の趨勢について、説明を頂きたい。 次に、国内で米不足が深刻なものとなっているが、この原因を萩市としてどのように分析しているか。 次に、米価が高騰している理由をどのように分析しているか。そして、今後どのように推移していくと考えているか。 最後に、それらの分析・判断により、萩市の農業政策に今後どのように反映させていくのか、お訊ねする。
3. 萩市中小企業等事業拡大補助金について	1. 中小企業等チャレンジ支援事業における萩市中小企業等事業拡大補助金について、お訊ねする。 これは中小企業等の物産展や面談会への出展、そして海外販路開拓に際し、補助金が助成されるものである。 まず、この販路拡大事業の近年の利用状況（件数・金額）をお訊ねする。 次に、この補助事業対象者の要件について確認する。あくまでも個別企業が対象か。 最後に、この補助事業対象者に組合組織が含まれない場合、組合組織むけに別枠で補助金の助成ができないか、訊ねる。 近年の物価高や人件費の上昇、そして金利高騰の要因で、中小企業、とりわけ小規模零細企業の経営環境は相当に厳しいものがある。 そのような状況下において、個別企業が単独で物産展や面談会に出展するよりも、組合組織で出展した方が、スケールメリットが生まれることもある。そして、実際にそのような要望に接している。 財源については、反復利用の制限を設ければ、捻出できるのではないか。 この経営難とも言える状況を乗り越えるには、組織力を強化することが必要である。そうすれば加盟企業間の情報交換も進み、新たな取組み、そして経営強化につながるのではないか。前向きにご検討を頂きたい。

質問順位	14	質問者	水津和男議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 漁業改革のための継続的な取り組み	1. 漁業資源の著しい減少を憂い、これまでの獲る漁業から育てる漁業に力を入れることの重要性と海そのものの環境改善を訴えてきました。 然しながら、枯渇した状況はそうそう簡単に改善できないことを改めて痛切に感じているところです。また、4月から香川大学のテーマ『海と共に生きる』を半年間受講しました。得たことも多く今こそ、漁業者・漁協・水産行政(萩市・県・国)との連携強化し改善に向けて取り組む必要性を強く感じています。そこで、問います。 (1) 漁礁、藻場の改善取り組みをされていると思うが設置箇所数の実績と今後の設置予定。設置した場所の評価と今後に向けての考えについてお聞かせください。 (2) 海ゴミは魚の産卵に悪影響を及ぼしていると聞きます。海ゴミの量がどの程度ありどの程度回収されていますか。海ゴミの回収による削減は産卵場の整備と漁業者の収入確保に繋がると考えますが如何か。 (3) 地球温暖化で海水温が高くなり魚が育たないと聞く。萩ブランドのアジやアマダイ、剣先イカなどについて、県栽培漁業センターでの研究・対策を要請されませんか。		
2. 地域の課題や問題点の取り組みについて	1. 地域によって取り組みがバラバラであると感じています。総合事務所(旧郡部)では事業化と予算付けまでされ、さらには地域調整監の配置などがあります。 また、市内の椿東、川北、川南地区の町内会は行政とのブロック会議など意見交換され行政との関わりがあります。 然しながら、大井・三見や見島などの島嶼部は行政とのすり合わせは無く地域でそれぞれ改善取組することとなっています。そこで、 (1) 地域の課題問題点と萩市の方針を擦り合わせをし重要項目によっては優先順位を付けて予算化し事業推進することが本来のあるべき姿ではありませんか。 (2) 町内会レベルの地域課題の取り組みとは別に、各種団体や協会の課題問題点も多くあると思います。同様に取組みすべきではありませんか。		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
	(3) 見島地区の課題問題点について具体的に問います。 ①島民の方からの話として、生鮮食料品(例えば牛乳)に船賃がプラスされ購入することになる為毎日摂ることは金銭的に大変である。このことで懸念するのは我慢生活をする事で健康を害することに繋がらないかという事です。市街地との健康寿命など調査比較お願いしたい。 ②8月に見島を訪問し海岸を歩いてみたが漂着ごみの多さに驚いた。島民だけで解決できる量と思えない。有人国境離島交付金の利活用について強力に取り組むべきではありませんか。

質問順位	15	質問者	村谷幸治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 上下水道管等の点検調査について		1. 全国で下水道管の特別重点調査が実施されていますが、萩市で該当箇所はありますか。以前、お聞きしたことがあるかもしれませんが、再度、お訊ねします。また、上水道管の耐用年数は通常40年とされています。その他の下水管などの耐用年数は建設後50年程度とされていますが、1月の埼玉県の事故を受けまして、萩市独自で調査された箇所があるかどうかお訊ねすると共に、今後の点検・調査計画などありましたらお知らせ願います。	
2. 疎開保険の検討を		1. 鳥取県八頭郡(やずぐん)智頭町(ちづちょう)は、全国で始めて地震などで被災した際に、ストレスの多い被災地から「疎開」する場所を提供する「疎開保険」という制度を企画して、関係人口を増やしています。萩市でも以前あったフレンド保険を続けませんか。	
3. NHK放送受信設備の受信未契約について		1. 先月、一部報道にもありましたが、NHK放送受信契約が未締結となっている事案が、萩市でも発覚したとのことです。対象となったのは、公用車のカーナビゲーションが24台で、未払い額が2,629,195円ということでした。金額が大きいに思われますので、過去に遡って何年か未払いの期間があったのかという点と、公用車両は何処が管理しているのか、何故、こういった事務的ミスが起こったのかお知らせください。	

質問順位	16	質問者	瀧口治昭議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 行財政改革に対する萩市の考え方は		1. 高齢化社会、少子化、人口の減少、多くの経費や、物品の値上がりなど、地方自治体を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。こうした状況の中で、萩市は市政全般にわたってどのような行財政改革を実施していくのか、その方針をお聞きします。 2. 行財政改革の一環として市の所有する土地、建物などで現在使用していない、将来的にも利用計画のないものは民間の希望者があれば土地の流動化を率先する意味での積極的な売り渡し事業が考えられませんか。	
2. 萩市観光「自然と歴史」情報センターのその後の利用計画は		1. 令和5年12月6日の議員全員協議会で、萩市観光「自然と歴史」情報センターは明倫学舎移転後の施設の利用方針について、県の免許更新センターとしての利用案が説明されました。県内他市ではすでに同様の施設が開設されとの記事がありましたが、現在の進捗状況をお聞きします。	
3. 市内の道路歩道の改善について		1. 市内市街地を走る道路は、車が走る道路については概ね良好な状態であると感じていますが、残念ながら人が歩く歩道については、良好な状態にあるとは言い難い箇所も見受けられます。 具体的に椿町から橋本橋を渡り御許町間の両側の歩道については排水の為でしょうか、歩いてみると平坦ではなく、一部かなりな傾斜が車道部分からついています。歩行者、特に高齢者、障がい者の方の歩行には不便な現状であると考えますが、市のお考えをお聞きします。	

